



Ishikawa
NISHIDA KITARO
Museum of Philosophy

〈開館 20 周年記念特別展〉

漱石と幾多郎

—ふたりを慕う人々—



夏目漱石 (45 歳)
県立神奈川近代文学館所蔵

藤岡作太郎

岩波茂雄

松本文三郎

内田雄太郎

和辻哲郎

津田青楓

西田幾多郎 (72 歳)

2022 年 2023 年
9/28(水) ~ 3/26(日)

※新型コロナウイルスの感染状況により変更となる場合があります。ご来場の前にホームページをご確認ください。

【企画展開連イベント】要申込

講演会

漱石と幾多郎—ふたりを慕う人々—

講師：長島裕子(秀明大学客員教授、日本近代文学)
「漱石の愛した絵はがき」著者に、漱石と幾多郎に
共通する人々について詳しくお話いただきます。

【日 時】11/23(水・祝) 13:30~15:30
【参加費】無料



岩波書店所蔵
内田雄太郎 絵はがきより

西田幾多郎
哲学講座⑦

夏目漱石《だらしない自然》のリアリズム

講師：伊藤 徹(京都工芸繊維大学教授、哲学)
漱石の作品を手がかりに、現代世界のありようについて哲学的に考えます。

【日 時】12/3(土) 13:30~15:30
【参加費】500 円(要申込・1ヶ月前から受付開始)
*哲学講座年間受講者は参加費不要です。

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井 1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



■facebook でもイベント関連情報を随時更新しています。

観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:00(入室は 16:30 まで)
休 館 日 ■ 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、メンテナンス期間
観 覧 料 ■ 一般 300 円(団体 250 円・20 名以上) / 高齢者(65 歳以上) 200 円
/ 高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方および介助者 1 名無料

交通アクセス
【車 利用】北陸自動車道 [金沢東 IC]—国道 159 号線(約 20 分)
のと里山海道 [白尾 IC]—(約 5 分)
【JR 利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線(約 25 分)—宇野駅—
—徒歩(約 20 分)—哲学館



漱石と幾多郎

〔西田哲学館開館20周年記念特別展〕

—ふたりを慕う人々—

2022年 9/28(水) ~ 2023年 3/26(日)

文豪・夏目漱石(1867 - 1916)と哲学者・西田幾多郎(1870 - 1945)。漱石が三歳年長で、ともに帝国大学文科大学で同時期に学んでいます。ただし、幾多郎は高等学校を中退したため哲学科の「選科生」で、漱石は英文科の本科生でした。同じドイツ語の授業を受けるなどしていたものの、当時の彼らに交流のあとはみえません。その後もふたりに表立った行き来はありませんが、不思議なほど、ふたりを慕う人物には重なるものがあります。哲学者・和辻哲郎や岩波書店創業者の岩波茂雄、画家・津田青楓のような漱石木曜会のメンバーをはじめ、幾多郎と青春時代を過ごした金沢の仲間達にも、のちに漱石と同僚になり親しくなる人物が多くいます。ともに参禅経験者で甘党、常にお洒落に気を遣う漱石と、身なりに無頓着な幾多郎。似たところも違うところもある漱石と幾多郎ですが、ふたりの周りには常に人が集まってきました。漱石と幾多郎の人間的魅力に惹かれ、ふたりと交流した、共通する人々を紹介します。

【祝!開館20周年記念事業】

◆喫茶テオリアにて

復活!人気メニュー「北条先生の熱中ようかん」

開基に熱中する西田幾多郎の恩師・北条時敏のエピソードにちなんだ、水ようかん。2018年企画展での人気メニューがこの期間限定で復活します。甘党だった夏目漱石も大喜び?!

【期間】9/28(水)~2023年3/26(日)

【料金】350円

◆新オリジナルグッズ

「哲学者ふせん」発売中!

論文などで繰り返される西田幾多郎の書き癖を、西田の直筆文字で再現しました。この付箋を使えば、あなたのメッセージも西田独特の文体に!?

【仕様】「であるのである」でなければならない

2種×50枚セット・250円(税込)

【主な展示内容】

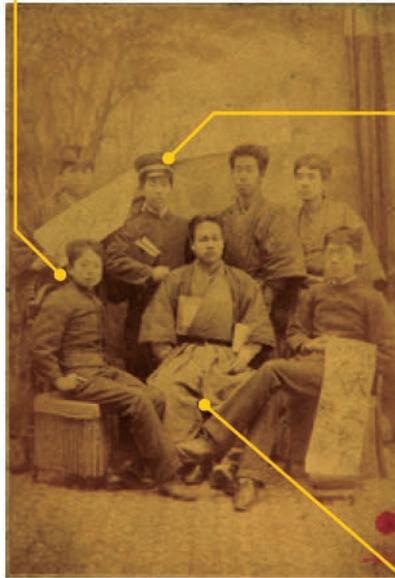
■夏目漱石宛の絵はがき(岩波書店所蔵)



●藤岡作太郎(国文学者)より
明治41(1908)年
6月30日



●松本文三郎(印度哲学)より
明治41(1908)年1月26日



明治憲法発布の日集合写真
明治22(1889)年2月11日、幾多郎18歳
幾多郎四高学生時代に仲間と撮った集合写真。後列右より二人目が幾多郎、その左隣が松本文三郎、前列左より藤岡作太郎、内田雄太郎。



●内田雄太郎(教育者)より
明治38(1905)年
11月14日



津田青楓が描いた
西田幾多郎肖像画 年代不明



津田青楓(画家)より
大正2(1913)年
9月18日

